

Special Report

スペシャルレポート

ウェリントン・企業価値共創世界株ファンド
Aコース(米ドル売り円買い) / Bコース(為替ヘッジなし)
追加型投信 / 内外 / 株式

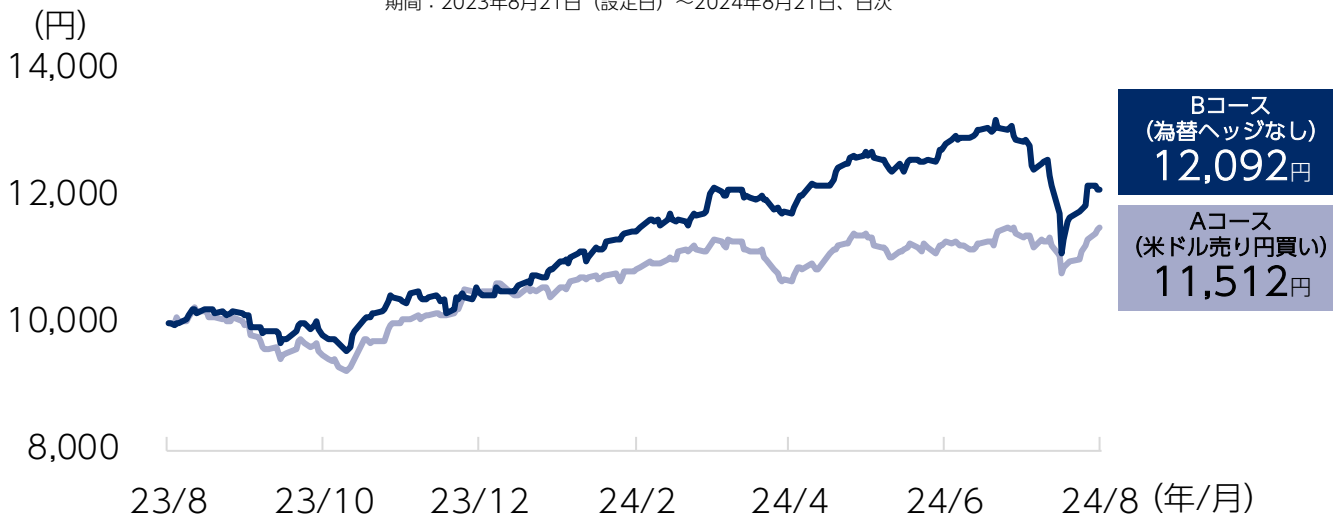
ファンドの運用状況と注目トピック

■ ファンドのパフォーマンス

2023年8月に設定した当ファンドは、おかげさまで設定**1周年**を迎えました。
今後ご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

設定来の基準価額（分配金再投資）の推移

期間：2023年8月21日（設定日）～2024年8月21日、日次



期間別騰落率

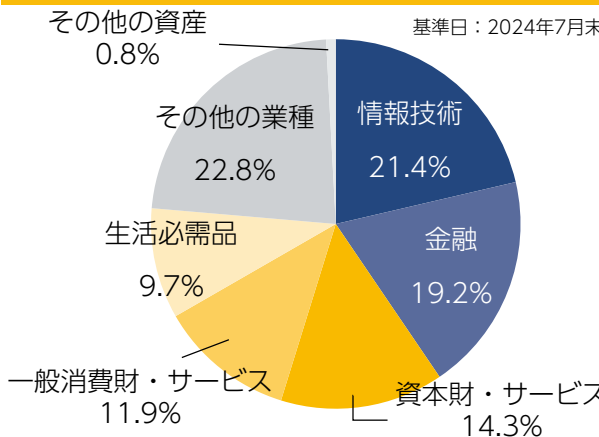
基準日：2024年7月末。各期間は基準日から過去に遡った期間です。

	Aコース	Bコース
3ヵ月	3.2%	3.2%
6ヵ月	5.2%	12.9%
設定来	12.8%	25.8%

・基準価額（分配金再投資）ベース

業種別配分

基準日：2024年7月末



ウェリントン・マネージメント・ファンズ（アイルランド）－ウェリントン・グローバル・スチュワード・ファンドの資産内容

基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



■ 設定来の投資環境と運用経過

2023年8月21日にファンド設定してから2024年7月末において、世界株式は上昇しました。2023年11月には10月の米CPI（消費者物価指数）の上昇率が市場予想を下回ったことや英中央銀行が政策金利水準を据え置いたことなどを背景に上昇基調が強まりました。その後も、米利下げ期待の高まりや、大手半導体メーカーの良好な決算・業績見通しなどにより上昇が続きました。2024年7月中旬には、米国政府が同盟各国に中国向け半導体輸出に関する規制強化を要請し、米半導体メーカーへの悪影響が懸念されたことから売りが先行する局面もありました。

なお、同年8月に入ると米失業率の上昇などを受けて米国の景気後退懸念が広がり、世界株式は急落しました。ただその後は、堅調な米小売売上高や米利下げ期待などを背景に米景気後退懸念が和らいだことから、世界株式は落ち着きを取り戻しつつあります。

世界株式の推移と主な出来事（ファンド設定来、米ドルベース）



期間：2023年8月21日～2024年8月21日、日次。起点を100として指数化。使用した指数については5ページをご参照ください。

業種別では、生成AI（人工知能）市場の拡大期待を背景に情報技術などが大きく上昇した一方、生活必需品などの上昇幅は限られました。

ファンドの運用においては、情報技術のマイクロソフトや、資本効率の向上と株主還元の充実に取り組むリクルートホールディングスなどの株価上昇がプラスに寄与しました。他方、生活必需品の英飲料メーカーなどの株価下落がマイナスに影響しました。なお、ファンドは2024年8月の世界株式の急落に伴い下落しましたが、足元は回復基調にあります。

ファンドは、長期的に稼ぐ力があり、優れたスチュワードシップを实践・継続できる企業を厳選できるよう、多岐にわたるエンゲージメント（対話）を行ってきました。今後もエンゲージメントを続け、世界株式を上回る長期のトータルリターン実現を目指します。

出所：ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。

世界株式の業種別騰落率
（米ドルベース、上位・下位3業種）

上位	
情報技術	43.6%
コミュニケーション・サービス	30.2%
金融	26.7%
下位	
素材	9.3%
生活必需品	7.9%
エネルギー	4.6%

期間：2023年8月21日～2024年8月21日

スチュワードシップとは、企業の自社の利益とステークホルダー（利害関係者）の利益のバランスを重視した、持続的成長につながる企業努力を指します。

スチュワードシップへの取り組みに関する銘柄例は、野村アセットマネジメントのホームページのESGレポートよりご覧頂けます





注目トピック

安定した超過収益をめざす投資戦略

当ファンドが用いる運用戦略（以下「当戦略」）は「企業価値と投資リターンの価値共創をめざす」という思いからスタートしました。稼ぐ力を高く維持できる企業を選別し、エンゲージメントを実施しながら株式を長期保有することで、下記のグラフ期間において世界株式と比べ相対的に高いリターンを実現しました。これらを支えているものが、ウェリントン社の強みである、高い銘柄選定能力と長期投資を見据えたエンゲージメント（右記参照）です。

当戦略はバリュー株（割安株）・グロース株（成長株）といったスタイルを重視した運用ではなく、企業の高水準の稼ぐ力を維持できると判断した企業への集中投資を行なっております。そのため、相場がバリュー株/グロース株のどちらに傾いても安定した超過収益を積み上げてきました。

50名以上のアナリスト

30年以上の経験を有する
ポートフォリオマネージャー

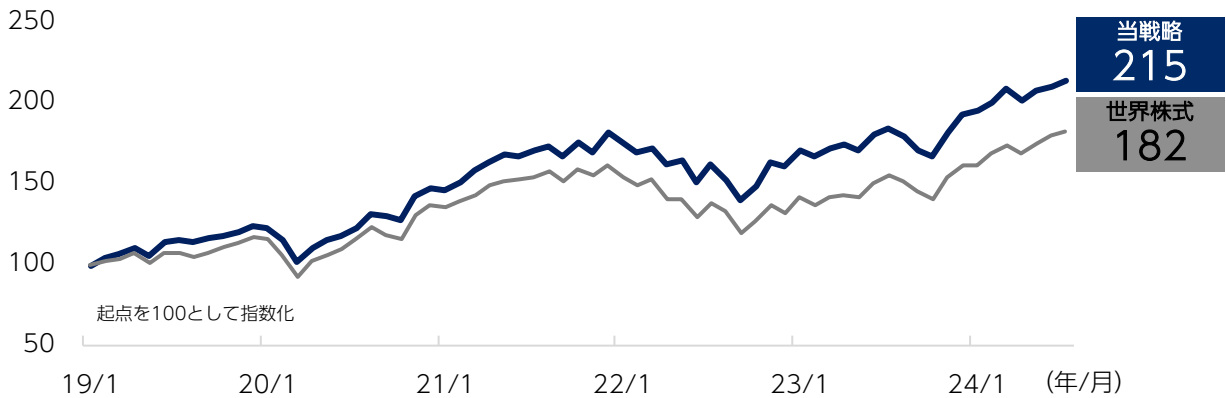
年間**5,500社**以上の企業と
17,500回以上の会議やエンゲージメントを実施

・2023年実績

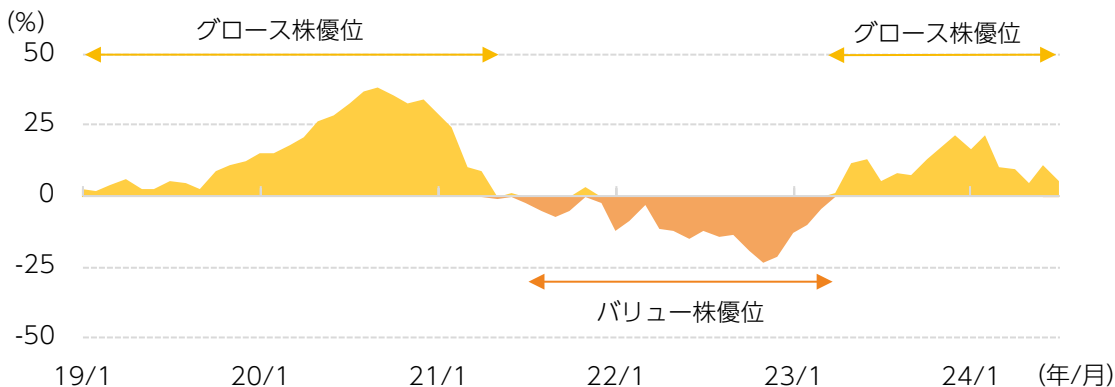
下記は、当戦略のコンポジット（以下コンポジットといいます。）のパフォーマンスを表しており、ファンドが投資対象とする外国投資証券の信託報酬上限である年0.65%を控除して算出しています。コンポジットは当戦略と同じチームによって運用され、同様の運用戦略を採用しており、ファンドが投資対象とする外国投資法人も含まれています。過去のコンポジットの運用実績であり、ファンドの運用実績ではありません。あくまでご参考としてご理解ください。コンポジットのベースカレンシーは米ドル（USD）、2019年1月末を起点として算出されています。

●コンポジット（Composite：合成を意味する英単語）とは、運用パフォーマンス測定のために複数のファンドを加重平均してまとめたものをいいます。

当戦略と世界株式のパフォーマンス推移（米ドルベース）



世界のグロース株とバリュー株市場のパフォーマンス比較（米ドルベース）



上記は2018年1月末～2024年7月末の月次データを基に各指数の1年間の騰落率を算出、グロース株の騰落率からバリュー株の騰落率を差し引いたものです。プラスはグロース株優位、マイナスはバリュー株優位を示します。

期間：2019年1月末～2024年7月末、月次。使用した指数については5ページをご参照ください。

出所：ウェリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー、ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。



ファンドの特色

1

新興国を含む世界各国の企業の株式を実質的な主要投資対象※1とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。

ファンドが投資対象とする外国投資法人である

「ウェリントン・マネージメント・ファンズ（アイルランド）－ウェリントン・グローバル・スチュワード・ファンド」の主な投資方針

- 新興国を含む世界各国の企業の株式を主要取引対象とし、信託財産の長期的な成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
- ボトムアップ型のファンダメンタル分析に基づき、持続的に資本コストを上回る魅力的な資本利益率を生み出し、スチュワードシップへの優れた取り組みを見せる企業の株式に投資を行ないます。

当ファンドでは、スチュワードシップを、企業が収益を追求するうえで、利害関係者（顧客、従業員、地域社会、サプライチェーン）にどのように利益を配分するか、また環境、社会、ガバナンスに関連するリスクと機会をどのように経営戦略に取り入れるかであると定義します。

- 株式への投資にあたって、確立された競争優位性、明確なビジネス優位性、継続的な改善とイノベーションの実績、優れたリーダーシップなどの企業のビジネスモデルの優位性に着目します。

持続可能な社会に向けて掲げている目標

- 経営陣や取締役がスチュワードシップへの優れた取り組みを見せる企業の株式に投資を行ないます。
- パリ協定に基づき投資先企業において2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロ（ネットゼロ）とすることを促します。

上記の目標に沿って設けられた社会や環境に関するスチュワードシップ基準について、一定の水準を満たす企業に投資を行ない、その投資比率は純資産総額の90%以上を維持することを基本とします。

2

米ドル売り円買いの為替取引を行なう「Aコース」と対円での為替ヘッジを行なわない「Bコース」から構成されています。また、「Aコース」と「Bコース」間でスイッチングが可能です。

ファンド名	投資対象とする外国投資法人の円建ての外国投資証券
Aコース (米ドル売り円買い※2)	ウェリントン・マネージメント・ファンズ(アイルランド)－ウェリントン・グローバル・スチュワード・ファンドークラスS(円ヘッジ有、分配金無)
Bコース (為替ヘッジなし)	ウェリントン・マネージメント・ファンズ(アイルランド)－ウェリントン・グローバル・スチュワード・ファンドークラスS(円ヘッジ無、分配金無)

※1 「実質的な主要投資対象」とは、外国投資法人や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。

※2 Aコースにおける「米ドル売り円買い」とは、原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行なうことをいいます。



投資リスク

当ファンドの投資リスク ファンドのリスクは下記に限定されません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

各ファンドは、外国投資証券等への投資を通じて、株式等に実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落や、当該株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

◀**基準価額の変動要因**▶ 基準価額の変動要因は下記に限定されるものではありません。

株価変動リスク ファンドは実質的に株式等に投資を行ないますので、株価変動の影響を受けます。特にファンドの実質的な投資対象に含まれる新興国の株式等の価格変動は、先進国以上に大きいものになることが予想されます。

為替変動リスク ●「Bコース」が投資する「ウェリントン・マネージメント・ファンズ(アイルランド)ーウェリントン・グローバル・スチュワード・ファンドークラスS(円ヘッジ無、分配金無)」においては、原則として対円で為替ヘッジを行ないませんので、為替変動の影響を受けます。●「Aコース」が投資する「ウェリントン・マネージメント・ファンズ(アイルランド)ーウェリントン・グローバル・スチュワード・ファンドークラスS(円ヘッジ有、分配金無)」においては、原則として当該クラスの純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り買いの為替取引を行なうことにより、米ドル建ての資産については為替変動リスクが低減しますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。また、米ドル建て以外の外貨建資産については、当該通貨と米ドルとの間の為替変動の影響を受けます。この場合、当該通貨が米ドルに対して安くなった場合には、基準価額が下落する要因となります。なお、円金利が米ドルの金利より低い場合、為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)がかかるため、基準価額の変動要因となります。●各ファンドの実質的な投資対象に含まれる新興国の通貨については、先進国の通貨に比べ流動性が低い状況となる可能性が高いこと等から、当該通貨の為替変動は先進国以上に大きいものになることも想定されます。

ESG投資に関するリスク ファンドは、実質的に投資対象銘柄のESG特性を重視してポートフォリオの構築を行ないますので、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。また、より幅広い銘柄の株式に分散投資した場合と比べて基準価額が大きく変動する場合があります。

お申込みメモ

● 信託期間	無期限(2023年8月21日設定)	
● 決算日および収益分配	年2回の毎決算時(原則、毎年6月および12月の15日(休業日の場合は翌営業日))に、分配の方針に基づき分配します。	
ご購入時	● ご購入価額	ご購入申込日の翌営業日の基準価額
	● ご購入代金	原則、ご購入申込日から起算して7営業日目までに販売会社にお支払いください。
	● ご購入単位	一般コース(分配金を受取るコース):1万口以上1口単位または1万円以上1円単位 自動けいぞく投資コース(分配金が再投資されるコース):1万口以上1口単位または1万円以上1円単位 *原則、ご購入後にコースの変更はできません。*詳しくは、野村證券にお問い合わせください。
ご換金時	● ご換金価額	ご換金申込日の翌営業日の基準価額
	● ご換金代金	原則、ご換金申込日から起算して7営業日目から販売会社にお支払いします。
	● ご換金制限	大口換金には制限を設ける場合があります。
その他	● スイッチング	「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。
	● お申込不可日	販売会社の営業日であっても、お申込日当日が以下のいずれかに該当する場合には、原則、ご購入、ご換金およびスイッチングの各お申込みができません。 ニューヨークの銀行の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、復活祭(イースター)直後の月曜日(イースターマンデー)、メーデー(5月1日)、クリスマスデー(12月25日)の直前および直後のニューヨーク証券取引所の営業日
課税関係	個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。「Bコース」は、NISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。「Aコース」は、NISAの対象ではありません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。	

※お申込みの際には投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

当ファンドに係る費用

(2024年9月現在)

● ご購入時手数料	ご購入代金*に応じてご購入価額以下の率を乗じて得た額	
	ご購入代金	ご購入時手数料率
	1億円未満	3.3%(税抜3.0%)
	1億円以上5億円未満	1.65%(税抜1.5%)
	5億円以上	0.55%(税抜0.5%)
	※ご購入代金=ご購入口数×基準価額+ご購入時手数料(税込) <スイッチング時> ありません。	
● 運用管理費用(信託報酬)	ファンドの保有期間中に、期間に応じてかかります。	
	<ul style="list-style-type: none"> 純資産総額に年1.012%(税抜年0.92%)の率を乗じて得た額 実質的にご負担いただく信託報酬率(信託報酬に、ファンドが投資対象とする外国投資証券の信託報酬を加えた概算値):年1.662%程度(税込)(2024年3月8日 現在 年1.512%程度(税込)) 	
● その他の費用・手数料	ファンドの保有期間中に、その都度かかります。(運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。)	
	<ul style="list-style-type: none"> 組入価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドに関する租税 等 	
● 信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	ありません。	

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

当資料で使用した指数について

世界株式: MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス(配当込み、米ドルベース)
 グロース株: MSCIオール・カンントリー・ワールド・グロース・インデックス(配当込み、米ドルベース)
 バリュース: MSCIオール・カンントリー・ワールド・バリュース・インデックス(配当込み、米ドルベース)
 MSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス、MSCIオール・カンントリー・ワールド・グロース・インデックス、MSCIオール・カンントリー・ワールド・バリュース・インデックスはMSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。



当資料について

- 当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

お申込みに際してのご留意事項

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- ファンドの分配金は、投資信託説明書（交付目論見書）記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。

Webサイトでファンドの紹介動画を公開しています。



もっと詳しい説明や最新情報はこちらでご確認頂けます。



Aコース
(米ドル売り円買い)



Bコース
(為替ヘッジなし)

上記いずれも野村アセットマネジメントのwebサイトへアクセスします。

お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は

NOMURA
野村証券

商号：野村証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人金融先物取引業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は

NOMURA
野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会／
一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会